

本校在籍児童生徒数 小学部11名, 中学部0名 計11名
12月の学校生活目標:『表情とジェスチャーも使って伝え合おう』

日本語の良さをしみじみと感じています

校長 音田 正顕

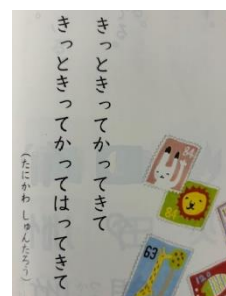
『名月を取ってくれろと 泣く子かな (小林一茶)』 10月の授業改編で、私が3年生から6年生までの書写の時間を担当することになりました。その6年生の最初の授業で、子どもたちが小筆を持って、半紙に挑戦した俳句です。教科書のお手本を見ながら、何枚か練習していく途中で少し休憩を入れたとき、この俳句の情景について話し始めました。これは、一茶が、自分の子どもが小さい頃に、そう言って駄々をこねた状況だろうから始まって、泣いているのはどんな子どもだろう、月をどこで見ているのだろう、冗談も交えて話は盛り上がっていきました。残念ながら、あまり盛り上がり過ぎると、肝心の書写の活動に支障が出そうになったので途中で打ち切りましたが、この俳句の情景を想像して味わう単元はもう一度、中学3年生の国語の時間に学習します。



中学校になると、3年間で学習する時間数は、英語の時間が一番多くなります。国語よりも数学よりも、英語の授業時間が多いのです。最近では小学3年生から外国語活動が始まり、小学5年生から聞くことと話すことを中心とした英語の授業が週に2時間、日本の学校でも始まっています。英語の重要性については、将来において欠くことができない学習であることは間違いありません。その点に関して言えば、本校では小学1年生から英語を学び始めますし、週2時間の授業以外に加えて特に会話を重視したエンジョイイングリッシュの時間を週に2時間分以上確保しているのです。小学部の中学年で英検の5級、4級に合格し、高学年では3級、準2級に挑戦する児童が出てくるわけです。もちろん、日常的に英語を使う機会も多いので、その必要性がある分、単に授業を受けるより、学校でも家でもそれ以外の場所でも、普段から英語を使う機会が多いほど習得が早くなるわけです。初めて4月にリヤドへやってきた1年生が、上級生に交じってエンジョイイングリッシュの時間に会話する姿は見てとても微笑ましいですし、将来が楽しみになってきます。



英語を、よりネイティブな発音で流ちょうに話すためには、インターナショナルスクールに通う方が近道でしょう。それは、一つの選択肢だと思います。しかし、母語が日本語である以上、例えば、最初に話した情景描写の考え方や想像する力は、どうなんだろうと思います。これは、9月に参加させていただいた校長研究協議会で、講師の方からいただいた言葉です。母語の大切さについては、公益財団法人 海外子女教育振興財団のホームページより『母語の大切さをご存知ですか? 海外での言葉の育て方』をご参照ください。キーワードは、「**学習言語の習得**」です。私たちは日本人としてのアイデンティティーの確立も含め、日本の教育カリキュラムを基に、日々子どもたちとたくさんの学習言語を繰り返し使いながら基礎固めをしています。受験のための教育ではなく、社会人になって、文章の読解力や分析力、他者の意見を尊重しつつ折り合いをつける着地点を探していく力など、日本人が世界から認められてきた部分の何割かは、教育に拠る所が大きいと感じています。決して、日本式の教育がすべてだ、最高だと言っているわけではありません。日本人学校では、子どもたちが将来、どんな世界をど



う生きるかを想像し、議論しながら、子どもたちが日本語を母語として大切にし、よりよく成長していけるよう考え、サポートしているということがお伝えしたかったのです。ちなみに、中学3年生の国語の最後の単元の随筆『温かいスープ』は、ぜひ、皆さんに読んでいただきたい作品です。



先月、谷川俊太郎さんが亡くなりました。小学校の国語の教科書には、1年生から6年生まで、4年生を除く5学年で谷川さんの作品が出てきます。特に、6年生の最後の教材である、詩「生きる」については、子どもたちがどんな話し合いをするか、今から楽しみです。そして、本校で使用する中学部の国語の教科書で最初に出会う教材は、同じく谷川さんの詩「朝のリレー」です。私は、中学校の国語の教科書が大好きです。ヘルマン・ヘッセの『少年の日の思い出』、太宰治の『走れメロス』、魯迅の『故郷』…。こういった多くの日本人が親しんだ小説を始め、古典を学んだと思えば最新の知見に基づいた説明文を学び、論語や徒然草を学んだと思えば、伊坂幸太郎や星野道夫、さくらももこも出てくる。こうした多様な日本語を学ぶことで子どもたちの思考は耕され、より多くの意見と対話することで国語力が形成され、将来へのベースが築き上げられていくと感じます。どうぞ、子どもたちの音読に付き合っ、国語の教科書を一緒に読んで味わってみてください。そして、ぜひ、子どもたちが中学生になってからも一緒に読んでみてください。大人になって改めて読むと作品がさらに味わい深くなっていることに気づかれると思います。日本人学校には、今年も新しい本が100冊届きました。多くの人に、手に取って読んでほしいと願っています。



12月の行事予定(保護者用)				リヤド日本人学校		15	日	保護者面談① 臨時体験入学~19	14:35	15:35	
※予定は変更になることがあります。				1年生	2年生	3年生以上	16	月	保護者面談②	14:35	15:35
1	日			14:35		15:35	17	火	保護者面談③	14:35	15:35
2	月	教育相談日①		14:35		15:35	18	水	全校朝会(平井) 忘年会(お楽しみ会)		15:35
3	火	教育相談日②		14:35		15:35	19	木	2学期終業式 午前授業		11:30
4	水	全校朝会				15:35	20	金	冬季休業~1月6日(月)		
5	木	委員会⑧				15:35	21	土			
6	金	授業参観(2時間) もちつき(10:30~)				12:00	22	日			
7	土						23	月			
8	日	授業参観振替休日					24	火			
9	月			14:35		15:35	25	水			
10	火			14:35		15:35	26	木			
11	水	児童会朝会				15:35	27	金			
12	木	職員会議				14:35	28	土			
13	金						29	日	年末休業		
14	土						30	月	年末休業		
							31	火	年末休業		



最近のホームページ&インスタグラム、絶賛リニューアル中！！

皆様、お気づきでいらっしゃいますか？リヤド日本人学校のホームページとインスタグラムに、新しい情報が次々と更新されています。これまでも、その都度、多くの方に見ただけのよう工夫して参りましたが、全校体制で情報発信に努めていきたいと思ひます。今日の一言にも書きましたが、リヤドでは何年か越しの一大イベントであるメトロの一般利用が始まりました。こうしたニュースも今後は取り入れていけたらいいなと思ひています。どうぞ、よろしくお願ひいたします。